

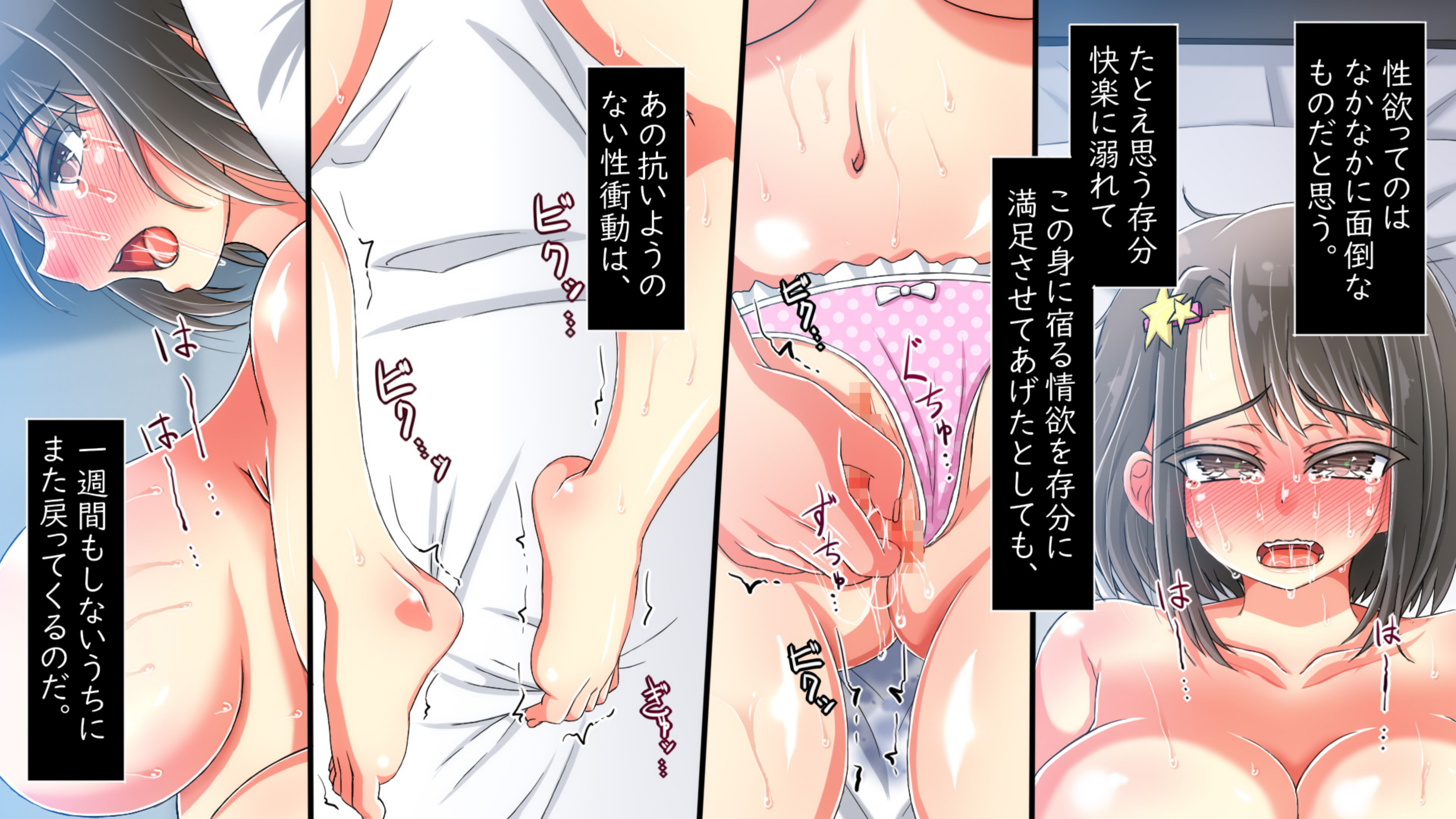
性欲ってのは  
なかなか面倒な  
ものだと思う。

たと思いう存分  
快樂に溺れて

この身に宿る情欲を存分に  
満足させてあげたとしても、

あの抗いようの  
ない性衝動は、

一週間もしないうちに  
また戻ってくるのだ。



だけど、

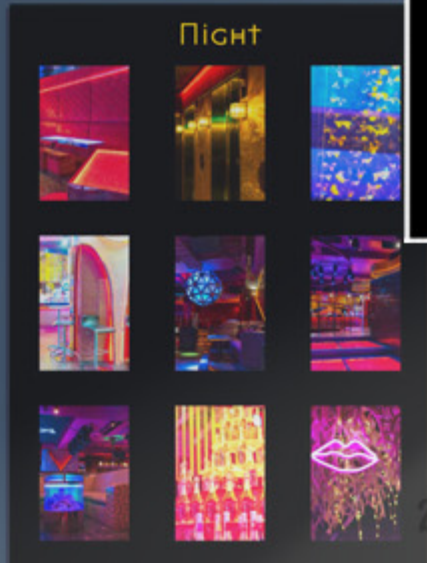
すぐにまた性欲が  
戻ってくるからと言って、

欲求不満を抑え込んで  
生活するようなのは  
わたしにはできないワケで。

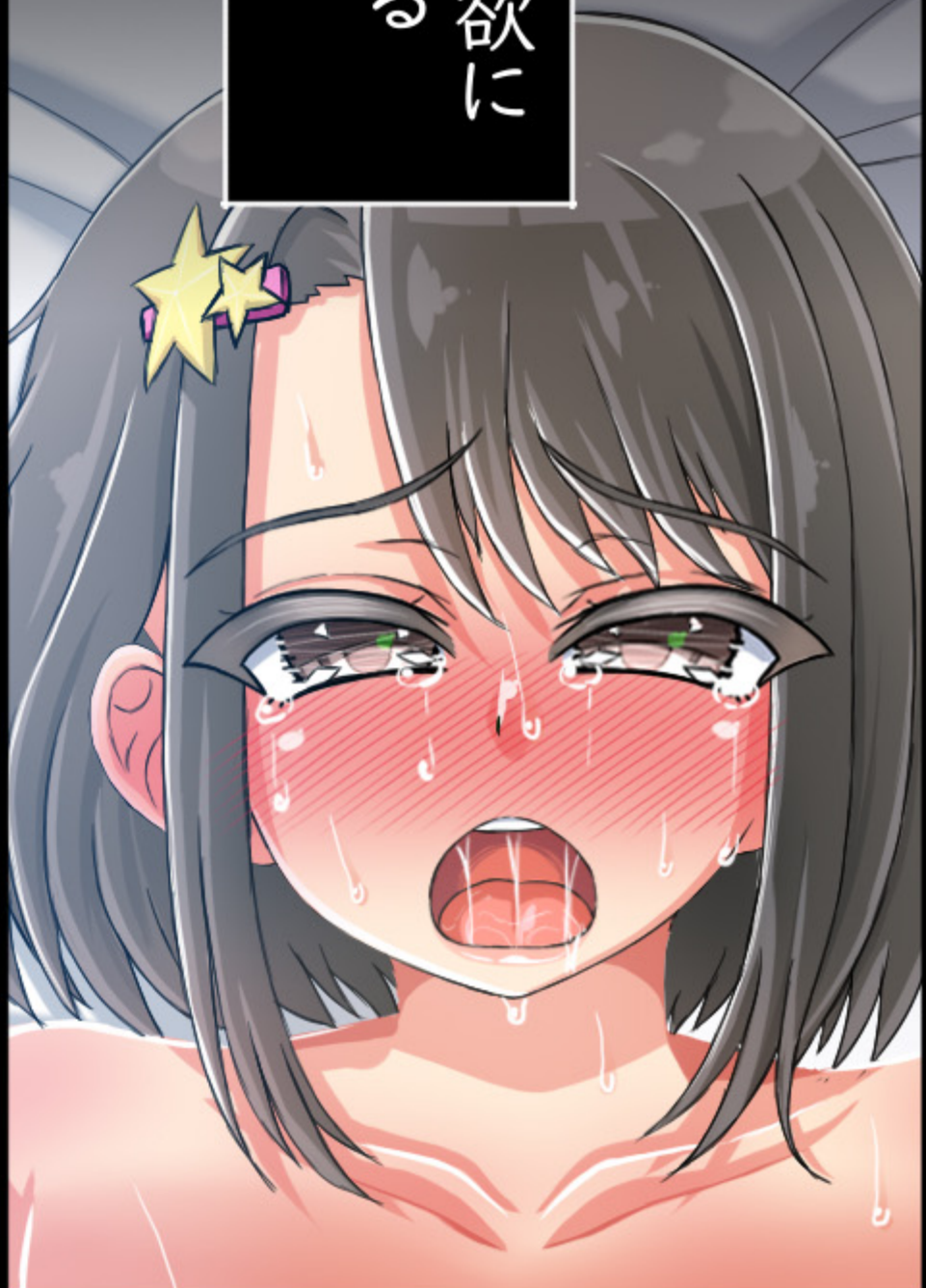
結局、週末が来る  
たびにわたしは、

ぞくぞく...

おもちゃ  
買い揃えた数々の玩具で  
自分の肉穴を満たす悦びに  
身を委ねることになるのだ。



つまるところ、  
私の人生は性欲に  
支配されている  
ようなもの。



タバコだとかお酒だとか、  
どうしてもやめられない  
モノは人それぞれ。



わたしの場合、  
ただ単にそれが  
自慰行為であるだけのこと。






快樂への希求……

それは、一度味わってしまったえば、  
決して忘れることなどできなくなる、  
罪深き果実。

それが、私を魅了して  
やまないモノの正体。



それじゃあ、  
始めようか。

淫欲に浸り、  
ただ快樂を得る為だけに

自分の雌穴を  
思い切り使い抜く  
この低俗な自流の時間を。

淫靡な快樂に乱れ、  
ただ一時の満足を  
得るためだけに、

大切な人生の時間を  
無駄に費やす自慰行為を。

一人暮らしも  
2年目に入る夏。

わたしは、相変わらず  
牝の快楽に溺れている。

5回  
分まで

# オナ るのを やめないっ!!

～いきまくる私のオナニ～実況録!～

体験版

冒頭68ページ分収録!

© 桃色☆どらいめろん



FHD MP4

190分

ISO

T

F  
AUTO

AUTO

よ  
し  
し  
撮  
れ  
て  
る  
か  
な  
し  
?

[]  
IDF ON

録画  
2:18





FHD MP4

190分

ISO

T

F  
AUTO

AUTO

新しいデイルドが  
届いたからね♡

今から思いツキし  
自分を犯しまくろうと  
思います♡

[IDF ON]

録画  
2:18



FHD MP4

190分

ISO

T

F  
AUTO

AUTO

露出願望、という  
ほどでもないのだが、

わたしには自分の痴態を  
他人に見られたいという  
欲求があるのだ。

そのカメラに向かって  
こんな茶番を演じているのには、  
もちろん理由があるわけで。

眼の前には自分を撮影  
しているハンディカメラ。

[IDF ON]


録画  
2:18

もちろん、現実世界でそれを  
叶えることは犯罪なので、  
実際にやることは出来ないのだけど、

いわゆる自撮り、  
カメラで撮影した  
自分のオナニー動画を

海外の動画サイトに  
アップロードするだけなら、

よほど運が悪くない限り、  
逮捕されたり身元が  
バレたりはしないワケで。



再生回数が伸びるのを眺めて  
仄暗い悦びに浸る……

結局の所、

それこそが私がたどり着いた、  
最も気持ちよくオナるための  
手段なのだった。

自分の淫らな痴態が  
人に使われているのだと思うと、

身が震えるほどの  
興奮に浸れるわけで、

オナニーで気持ち  
よくなるためなら、

私は手段を選ぶ  
つもりはないのである。

だからわたしは、通販で買った  
いやらしいデザインの  
ランジェリーに身を包んで、

カメラに対しての  
見せ方を意識しながら、

乳房にそっと添えた指先で、  
おき出しの乳首を  
優しく撫で上げていく。



通販じゃ「ランジェリー」として  
売られていたけど、絶対これ下着  
としての体をなしてないよね…

ある意味滑稽とも取れそうな  
自分の格好に、内心そんな  
ツツコミを入れながらも、

乳房の先端から遠慮容赦なく注ぎ  
込まれる脳がとろけるような、  
じんじんとした気持ちよさに、

はあ…♡

ふああっ♡

うっっ♡

私の頭はあつと  
いう間に淫靡な妄想に  
とらわれていく。

思わず声が出てしまう  
くらいの感度の良さ。

親指と人差指で、  
乳頭の部分を潰す  
ように刺激したり、

ぐりぐりと  
挟み込んでみたり。

んああっ♡♡

あッ…♡

ギョッ… ひん ひん  
びん びん

ビキ  
ビキ  
ビキ  
ビキ

ひん



早く早くと快楽を待ちわびる  
下半身の蜜壺は放置しながら、

ぶじくりと主張  
するその乳首を、

ぽあ...あ

ん...ん...ん♡

ああ♡

これ好き♡♡

焦らすように、  
ゆじくりと、

指先で捏ねくり  
回していく。



胸の先で感じ取る、  
羞恥を伴った刺激。

そのぞくぞくとした  
背徳的な喜びに  
背中を震わせながら、

トオ...

あうう...♡

あッ...♡

わたしはこれから始まる  
淫猥な行為で得られる快樂に  
思いを巡らせていく。



だけど、想像したら我慢ができなくなるのは当然のこと。

乳首だけをいじって思いつきり焦らしてやろうなんて考えていた目論見が

音を立てて崩れていく。



フリーになっている  
右手の指先を、

刺激を与えられるのを  
今か今かと待ちわびる自分の  
牝の部分にあてがった私は、

興奮でぶっくりと主張  
しているクリトリスを

包皮の上から手のひらで  
押しつぶしながら、

興奮でぬらぬらとした愛液を  
垂れ流す蜜壺の中に、

一本、二本と指先を  
押し込んでいく。

ふああっ♡

あっ♡

びん

びん

びん

じゅぽっ♡  
びん

だん

だん

びん

は♡

は♡

じれったいような、  
もどかしいような、

背筋を登ってくるのは  
そんな歯がゆい刺激。

我慢ができなくな  
ったわたしは、

中指を中心とした3本の指を、  
ずっぷりと秘所の奥深く突き入れて、

あうう…♡

ううう♡

指先で膣道を広げ、  
かきまぜる。

ぐちゅぐちゅと  
音を立てながら



3本の指先に感じる、熱い  
くらいにうねる膣壁の粘膜。

膣口がきゅうつとうねるたび、  
膣壁のひだが指先にきゅつと食いつく。

与えられた刺激に悦んで、  
ぐいぐいと締め付けてくる  
膣口をなだめるように、

わたしは3本の指先に愛液を  
からませ、熱を感じる膣内の肉壁を  
押し広げるように動かしていく。



体内への入り口に、  
指を押し挿れて犯し抜く快樂。

ちゅぷちゅぷと淫靡な  
音を立てて喜ぶ膣道は

んああっ♡♡

いあ…あッ♡

すつかりと指先の  
形にほぐされて、

さらなる刺激を求めて  
ひくひくと淫靡にうごめく。



すっかりと出来上がったおまんこ雌性器。

とろとろの蜜壺とでも  
言っべきものになったそこに、

私は次なる快楽を  
挿入することにする。

セックス

セックス

セックス

セックス

セックス

セックス

セックス

セックス

セックス

右手で持ち上げたのは  
お気に入りのデイルドのひとつ。

そのぷにっと  
した亀頭部を、

んうっ♡

すわぁっ♡

んうおっ...

びん

びん

びん

わたしは愛液でとろとろに  
濡れたおまんこの入り口に  
押し当てる。



まだ開ききっていない  
膣肉を開くように、

挿入される極太の快樂に  
膣口の粘膜が慣れるように、

ぐんぐん…♡♡

ん…♡

私はそのシリコンの肉棒を  
ゆっくりと膣内に挿入していく。

おまんこの中をせり  
上がってくる異物感。

その快楽をともなった満足感に、  
お腹の中全体が満たされていく。

くっ……っ♡

牝穴を満たす  
満ち足りた快楽。

そんな多幸福感に思わず、  
ふうっと、ため息が漏れ出る。





おまんこの一番奥まで  
突き立てられたディルド。

その亀頭部は子宮口を押し上げ、  
内側からお腹に押し付けられた子宮が、

ぽっこりとディルドの形に  
おなかを押し上げる。

トオ...



あッ♡

セクッ

んああッ♡

セクッ

セクッ

セクッ

オナホ

おまんこの形が  
デイルドに馴染むまで

しばし快樂に  
震えた後、

私はゆっくりと  
デイルドを動かし始める。

最初はゆっくりと  
引きずり出しては、

また同じようにゆっくりと  
押し込んで、膣壁の粘膜を  
擦り上げていく。

その出し入れの  
リズムは、

ふあ…あッ♡

んああっ♡

膣がデイルドの異物感に  
慣れることで、徐々に  
早くなっていく。

ゴッゴッ

ゴッゴッ

んああッ♡

んああッ♡

はっ♡

はっ♡

はあ……♡

ビクッ♡

ゼッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

左手の指先で、クリトリスに包皮の上から甘噛みのようなもどかしい刺激を与えながら、

私はひたすら、

ディルドをずりゆずりゆと引き抜いては、再び一番奥までぶちゅんと押し込むその作業に没頭する。

おっ……♡

デイルドを突き入れるたびに、  
膣奥の狭まった部分が  
ぎゅゅと押し上げられて。

おっ♡♡

おっ♡♡

おっ♡♡

おっ♡♡

ロングストロークでデイルドを  
突き入れてピストンするたびに、

ローションや愛液が混ざり合って  
膣内でぐちゃぐちゃになって。

お腹の中全体を侵されて  
いるような衝撃が、膣奥から  
腹膜へと伝わってくる。





正直、自分のおまんこ牝穴を  
モノのように使うのって、

めちゃくちゃ興奮する。

わたしは  
夢中になって、

このデイルドの抽送で  
得られる快楽を  
楽しみ続けていた。

淫らな肉穴がすっかりと  
デイルドの味と形を覚えこんだら、

とっ\*

次はデイルドを床にくっつけて、  
それにまたがってみる。

いわゆる騎乗位の  
スタイルだ。

FHD MP4

172分

はあ……ッ

ISO

ああっ♡

T

F  
AUTO

AUTO

この体位でやるのが、  
私は大好きなのだ。

あとは腰を思いっきり振るだけで  
快楽を搾り取るこののできる、

膣内さえ広がってしまえば、

ディルドを手で出し入れ  
するというのは、実は  
思いの外疲れる作業なわけで、

IDF ON

録画  
20:46

体重をかけた腰を  
すっとんと落とすと、

床からそそり立つディルドが  
ずふんと一気に一番深い  
ところまで入ってくる。

自重で下に下がろうとする子宮が、  
お腹が盛り上がるくらいに押し上げられる。

膣奥がきゅうつと締まって、

鈍痛を伴った、だけど  
とてもあたたかい快感が

一気に脳内へと  
流れ込んでくる。

っしゅっしゅ…♡

はあ…♡

びく  
びく

はっ…♡  
はっ…♡

びゅっ♡

びゅ

びゅ

びゅ



脳内に流れ込む  
そのあまりの快楽に、

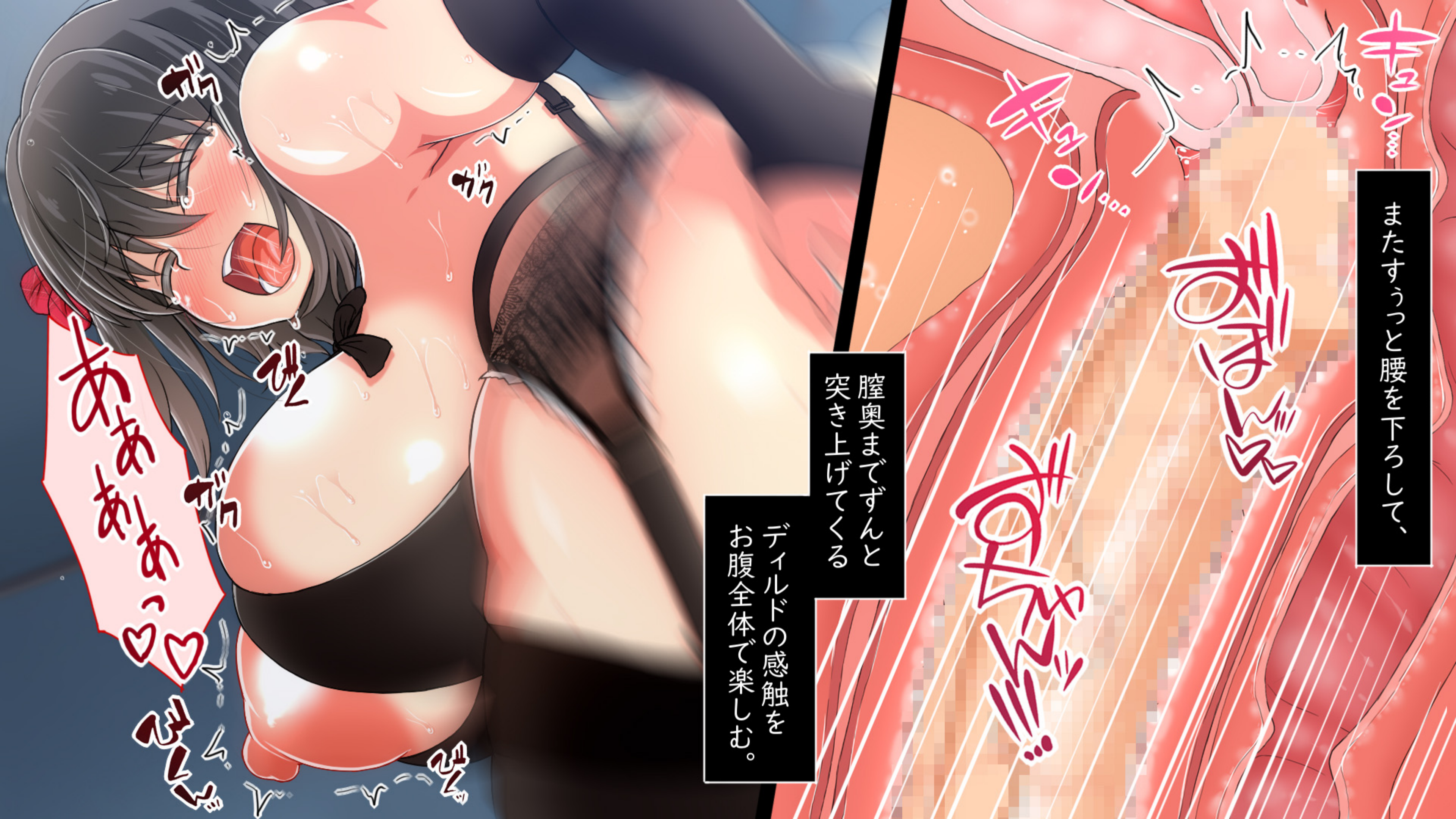
わたしはびくびくと  
体を震わせて、  
目を白黒させながら、

それでも快楽だけは  
もっともっとたくさん欲しくて、

はぁん…っ♡

んっ♡

無意識のまま腰を  
動かしてディルドを  
入口付近まで戻しては、



あああああ♡♡♡  
ひん

ん

ん

ん

ん

ん

膣奥までずんと  
突き上げてくる

ディルドの感触を  
お腹全体で楽しむ。

ぞろぞろ!!

あははは

んんん

またすうっと腰を下ろして、

んんん

クリトリスを  
いじりながら、

フルストロークで  
腰を振り続けるこの快樂。

おっぱい  
おっぱい

肉穴の奥底へと、  
デイルドが突き入れ  
られるたびに、

デイルドの亀頭部をずんと  
叩きつけられる子宮の衝撃が、

おっ……♡

しゅ……♡

内臓を通して  
お腹全体に伝わってくる。

ふとももに力を込めて、  
腰を大きく上下させる度、

その重さと膣の伸縮で  
下に下がった子宮が、

再びの突き上げと  
ともに無理やり

どちゅどちゅと  
突き上げられる。



突き上げられた子宮は、  
他の内蔵を押しつけて  
体内にスペースを作ろうとする。

ストロークが大きければ大きいほど、  
内蔵すべてを、お腹の中全体を  
犯されているかのような、

激しい衝撃が、  
いくばくかの苦しさとともに  
体の中を駆け巡るけれど、

今の私は、その苦しみや  
わずかにうづく膣奥の痛みすら、  
すっかり快樂に変えてしまっている。

はあっ♡

あッ…♡

あっ♡

ズンズンズン♡

ズンズンズン♡

ズンズンズン♡

ズン♡

今のわたしの体は  
すっかり性欲に  
調教されてしまっていて、

文字通り、  
内臓のすべてをぶち犯されて  
いるような快感が、

好きで好きで  
たまらなくなっている。

嬌声ともうめき声ともつかない  
悲鳴が、喉から漏れ始める。

過大すぎる愉悦に  
喘ぎ声をおさえ  
られなくなって、

あうっ……っ♡

繰り返し繰り返し  
膣奥を犯し抜く至上の快樂。

ズウッ♡

んっ♡

ははは……♡



んおッ♡

ふうッ♡

はあ…っ♡

ふう…っ♡

何度も何度も、

弾力のあるシリコンの  
肉棒で膣奥を突かれ続け

ひたすら内臓を犯し  
続けられるこの快樂に、

私はすっかり  
服従しきってしまっう。



大きく腰を振るたびに、  
お腹の中全体をつつむ多幸福感。

ふあ…あッ♡

はあん…っ♡

おまんこだけじゃなくて、  
わたしの体の全てが、

最初からデイルドに犯されるため  
だけに存在していたかのようにさえ、  
錯覚してしまう。



んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

繰り返し、  
繰り返し、

はあ…♡

はあ…♡

私はひたすら、

自分の肉性器を犯し  
抜くことだけを考えて、

ただ腰を振り続ける。

んっ♡

んっ♡

んっ♡



こらえきれない  
獣じみた快樂の嗚咽が  
部屋の中に響く。

あっ♡

脳内に浮かんで  
いるのは、

ただ自分の体と、  
この牝穴を使って、

少しでも多くの快樂を  
搾り取ろうということだけ。

オハヤ♡









んじゅ…♡

んっ♡

次の瞬間には、それが  
抜けてしまいそうな  
くらい腰を持ち上げる。

ディルドを根本まで  
飲み込むくらい  
腰を落としては、

ギョギョ

んっ♡

んっ♡

んっ♡



お腹全体を犯されて  
いるような衝撃が、

んあっ♡

あっ♡

どちゅんどちゅんと  
体全体を駆け巡っていく。

大きなストロークで  
腰を振り抜くたびに、

んあっ♡

んあっ♡

んあっ♡

ガク

ガク

ガク

ガク



んっ♡

んおっ♡

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

わたしはただひたすらに腰を振り続ける。

何度も何度も、

何度も何度も、

あぁっ♡♡♡

あぁっ♡♡♡

あぁっ♡♡♡

あぁっ♡♡♡

この幸せ。

この快樂と多幸福感。

ああ、わたしは間違いない——

ああ…ッ♡

この瞬間のため、この快樂を味わうために生きているんだ。

あッ…♡

んあぁっ♡♡♡

この快樂と幸せさえ味わえるなら、

もう他のことなんて全て、本当にどうでもよくなってしまいたい。

運動が続いて、  
疲労が溜まって、

汗でびっしょりになって、  
肩で息をしながら、

それでも私は、  
体を動かすのを  
やめられずにいる。

んっ  
んっ

んっ  
んっ

一秒でも体を止めたなら、  
この快樂が止まってしまうから。



ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

突発的に湧き上がってきた  
下腹部に凝縮した快樂に、

私はおもわず  
身を振らせる。

波のあるそれは、  
ひたすら腰を動かし  
続けるうちに、

収まっては再び襲ってくる  
ことをなんども繰り返す。

はっ  
♡

んっ  
♡

でも、

はあっ  
♡

わたしはまだ  
イきたくない。



あふん♡

腰を動かして、ひたすら肉棒の  
抽送を受け続けるだけの快楽を、  
もっと味わっていたいから。

あふん♡

あふん♡

汗だくになって、  
体が動かなくなるまで

子宮を、おまんこの奥を  
ずっと犯し続けていたいから。

あふん♡

あふん♡

あふん♡

あふん♡

あふん♡

あふん♡



快樂の波の上端がどんどんと私の理性を侵食してきて、

その快樂に、下腹部やふとももに、意識とは裏腹に引き攣るような力が込もる。

快樂がそろそろ限界を迎えそうだ。

あッ…♡

ヤバっ…♡

じじじ…♡

じじじ…♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡



FHD MP4

154分

ISO

T

F  
AUTO

AUTO

それがわかった私は  
頭を切り替える。

どうせイくななら  
おもいきり気持ちよく  
いきたいから。

[IDF ON]

録画  
38:12



腰の往復にあわせて  
くりかえしせり上がる  
ディルドの先端が、

ストロークのたびに子宮を  
体の内側から押さえつけて、

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

筋肉と腹膜で覆われた  
お腹の外側へと向かって、

衝撃を乗せて  
おもいきり叩きつける。

1度、2度、3度。

膣奥…いや、子宮全体を  
どちゅどちゅと叩き潰される  
その衝撃と快楽は、

ぐんぐん

んっ…

んっ

んっ

んっ

ぐんぐん

んっ♡

あつとぐうまに私の  
頭の中を真っ白にして、

4度、5度、6度。

真っ白に濁った頭で  
なおわたしは、

体の内側で大きく膨れ上がる、  
まるで爆発みたいな快樂が  
こみ上げてくるのを、

別世界の出来事  
みたいに感じながら、



7度、8度、9度…

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

アッ！

…んっ、

10度目に腰を  
落としたその瞬間に、



うああうう  
うああうう  
♡♡

っあああっ!!

うううううう  
うううううう  
!!

♡♡♡

♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡

♡♡

♡♡



腹筋と背筋に  
ぐっつと力がこもって、

そしてびくびくと  
体全体が引きつったかの  
ように痙攣を繰り返す。

お腹の中全体が  
性器になったかの  
ような幸せと、

多幸福感を  
伝えてきて、

こみ上げ寄せる  
快樂の津波に  
パンクした頭は

ただただ白濁とした  
混濁の中に沈んで、



情性で数度往復を  
繰り返す体は、

そのたびにお腹の  
一番おくの、

ズレ

ズレ

ズレ

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おお…♡

一番きもちいい場所を  
どすどすと殴りつけられて、

何度も何度も繰り返し  
押し寄せる快樂の波に、

わたしはびくびくと、  
体をうち震わせ続ける。





この続もあてて

陰核でいきやすくなろ

その  
一  
体

黒いディルドを  
ぶちこんでみたり!

第に熱を帯びて  
くなってくる乳首の先を、

ああ…ッ♡

指先で  
押しつ

おっぱいを弄り倒してみたりするぞ!

興奮したままのわたしは、  
連続でいくという至上の快楽を  
味わった

電気が  
ような

ファッキングマシンに  
身を委ねてみたり!

コントローラーを手に手に取り、



5回  
イキまで

# オナ るのを やめないっ!!

～イきまくる私のオナニー実況録!～

© 桃色☆どらいめろん

基本CG **22**枚  
セリフ差分 **213**枚